

令和 7年度（6年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	文化芸術・スポーツの振興		課(室)名	スポーツ振興課
	施策	スポーツの振興		電話番号	087-839-2626
	取組方針	スポーツに親しむ環境の充実		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	パラスポーツ推進事業			

【事業全体概要】

事業概要	障がい者のスポーツ推進を図るため、身近な場所で気軽にスポーツを実施することができる環境づくりやパラスポーツ大会の誘致等を通じて、障がい者のスポーツ人口の増大と競技力の向上に取り組む。				
年度概要	パラセーリング全日本選手権大会開催負担金 日本パラ陸上競技連盟 強化育成・J-STAR合宿 日本デフバドミントン協会強化合宿				
重点取組事業		市長マニフェスト	7-	関連根拠法令	スポーツ基本法

【事業の目的】

対象（何を）	市内の障がい者
意図（どのような状態にしたいか）	障がい者のスポーツ人口の増加及び競技力の向上を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
パラスポーツ用品の貸出件数	件	0	0	78	110	120
パラスポーツ大会及び合宿誘致件数	件	0	0	2	3	3

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
		パラスポーツの振興に関するイベント件数	件	目標値 実績値	0 0	0 0	18 31	19
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	各地域等で体験イベントを実施、啓発することにより、障がいのある方が様々なスポーツを知り、スポーツを気軽に楽しむ機会を提供することができ、競技力向上、競技人口増につながった。			(目標達成度) 172.2%		(得点) 35点		
成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
			目標値 実績値					
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
				(目標達成度)		(得点)		

【コストの推移】

	単位	R 4( 決算 )	R 5( 決算 )	R 6( 決算 )	R 7( 予算 )
トータルコスト	[千円]	26,465	38,109	38,599	30,136
(事業費)	[千円]	8,878	1,979	9,263	800
(職員人件費)	[千円]	17,587	36,130	29,336	29,336

【事業内容と事業費内訳】

項目	事業内容	積算根拠等 ( 予算の増減理由 )	事業費		
			特定財源	一般財源	
令和 6 年度	2024 ジャパンパラ陸上競技大会実行委員会負担金 神戸2024世界パラ陸上競技選手権大会代表選手強化 合宿 日本デフバドミントン協会強化合宿 パラスポーツ備品購入費 ジャパンパラ関連事業( 障がい福祉課分 )	2,392千円 33千円 244千円 4,099千円 2,495千円	総額	9,263	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	5,098
一般財源	4,165				
令和 7 年度	パラセーリング全日本選手権大会開催負担金 日本パラ陸上競技連盟 強化育成・J - S T A R 合宿 日本デフバドミントン協会強化合宿	200千円 143千円 457千円	総額	800	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
一般財源	800				

【事業の評価】

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結びつくか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 ( 率 )	96 / 100 ( 96 % )	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C ( 0%~ 59%)					

【昨年度の実施状況と課題】( 評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入 )

競技大会や合宿誘致を契機とした交流事業や各地域等でのパラスポーツ体験会の開催を今後も継続的に進めていく。  
また、パラスポーツを支える人材の育成を含め、身近な場所で気軽にスポーツを実施することができる環境づくりに取り組む。

【今後の事業方針】( 評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入 )

定期的なパラスポーツ大会や合宿誘致に努め、これらを契機としたパラスポーツ体験や交流事業を実施するとともに、パラスポーツの裾野拡大に向け、地域でのパラスポーツの普及・啓発に注力する。  
また、スポーツボランティアや事業連携を活用するなど、費用縮減に努める。

令和 7年度（6年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	文化芸術・スポーツの振興		課(室)名	スポーツ振興課
	施策	スポーツの振興		電話番号	087-839-2626
	取組方針	スポーツに親しむ環境の充実		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	市民スポーツ活動推進事業			

【事業全体概要】

事業概要	生涯スポーツの振興を図るため、（公財）高松市スポーツ協会 コミュニティスポーツ専門部及び健康・体力づくり専門部等と連携、支援する中で、各種事業を展開するとともに、（公財）高松市スポーツ協会 競技スポーツ専門部等への支援を通じて、競技力の向上に取り組んでいる。また、青少年のスポーツ振興を図るため、（公財）高松市スポーツ協会 高松市スポーツ少年団と事業を実施するなど連携・支援を行っている。 また、本市が委嘱しているスポーツ推進委員は、スポーツに関する指導・助言やスポーツの行事の企画運営、行政との連絡調整などの活動を行っている。			
年度概要	スポーツ推進審議会委員の報酬（11人×1回） スポーツ推進委員の報酬・研修会負担金等（86人×26回） 生涯スポーツ推進費 スポーツイベント開催負担金・補助金 スポーツ協会補助金			
重点取組事業		市長マニフェスト	7-	関連根拠法令

【事業の目的】

対象（何を）	小学生以上の市民
意図（どのような状態にしたいか）	地域住民に対しては、各小学校区に2人ずついるスポーツ推進委員を中心として、スポーツの振興を図る。主催6大会の参加チーム数を増やす。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
主催6大会の大会開催日数	日	0	0	6	6	6

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8	
		主催6大会参加者チーム数	チーム	目標値 実績値	0 0	0 0	120 71	120	120
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）								
	高松市スポーツ推進委員を通じて各地区住民への参加を促すとともに、1大会の種目変更を行ったことから、参加者チーム数は前年度から増加したが、目標値比59.2%にとどまった。			(目標達成度)		59.2%			
				(得点)		21点			
成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8	
			目標値 実績値						
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）								
				(目標達成度)					
				(得点)					

【コストの推移】

	単位	R 4( 決算 )	R 5( 決算 )	R 6( 決算 )	R 7( 予算 )
トータルコスト	[千円]	59,112	64,404	67,025	158,026
(事業費)	[千円]	46,689	51,909	49,655	140,656
(職員人件費)	[千円]	12,423	12,495	17,370	17,370

【事業内容と事業費内訳】

項目	事業内容	積算根拠等 ( 予算の増減理由 )	事業費				
令和 6 年度	スポーツ推進審議会委員の報酬( 11人×1回 ) スポーツ推進委員の報酬・研修会負担金等( 91人×26回 ) 生涯スポーツ推進費 スポーツイベント開催負担金・補助金 スポーツ協会補助金 サポート高松トライアスロン大会負担金	72千円	総額	49,655			
		13,352千円					
		6,804千円			特定財源	国	0
		7,391千円			県	0	
		7,036千円			市債	0	
		15,000千円			他	2,835	
					一般財源	46,820	
令和 7 年度	スポーツ推進審議会委員の報酬( 11人×1回 ) スポーツ推進委員の報酬・研修会負担金等( 86人×26回 ) 生涯スポーツ推進費 スポーツイベント開催負担金・補助金 スポーツ協会補助金 サポート高松トライアスロン大会負担金 かがわマラソン開催負担金	73千円	総額	140,656			
		15,176千円					
		7,329千円			特定財源	国	0
		6,791千円			県	0	
		6,884千円			市債	0	
		15,000千円			他	3,644	
		89,403千円			一般財源	137,012	

【事業の評価】

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結びつくか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~ 100%)	B	総合点 (率)	64 / 100 (64%)	今後の方向性	改善
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

【昨年度の実施状況と課題】( 評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入 )

参加資格要件を緩和する等により、参加チーム数の増加に努めている。

【今後の事業方針】( 評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入 )

新規参加チーム数の増加に努め、更に既存事業内容についての見直しを行い、事業の改善・継続を図る。

令和 7年度（6年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	文化芸術・スポーツの振興		課(室)名	スポーツ振興課
	施策	スポーツの振興		電話番号	087-839-2626
	取組方針	スポーツに親しむ環境の充実		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	学校体育施設開放事業			

【事業全体概要】

事業概要	本事業は、昭和40年に子ども達に安全な遊び場を提供しようとの配慮から、休業中の校庭開放事業として始まり、昭和47年から一般市民を対象とするスポーツ・レクリエーションの振興を狙いとする学校開放事業として開始し、昭和50年には「高松市学校体育施設開放規則」を制定し、市内全小学校の体育施設を自主管理方式で無料開放している。一方、中学校については、昭和48年から夜間開放事業を開始し、地域性、施設面積等を勘案して、現在、体育館10校、運動場5校の指定校方式で開放を行っている。平成14年度からは、受益者負担の原則に基づき、電気料の実費相当分を使用料として徴収している。			
年度概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管理謝金</li> <li>・開放施設電気料</li> <li>・屋外夜間照明等施設修繕工事費</li> <li>・その他</li> </ul>			
重点取組事業	市長マニフェスト	関連根拠法令	高松市立学校の管理運営に関する規則、高松	

【事業の目的】

対象(何を)	小学校体育施設開放の利用者...校区内住民で構成される10名以上の団体 中学校体育施設開放の利用者...市内在住又は勤務する18歳以上(高校生以下除く)10名以上で構成される団体
意図(どのような状態にしたいか)	学校体育施設をスポーツ・レクリエーションの場として開放することで、市民のスポーツ実施率の向上を図る。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	R4	R5	R6	R7	中期目標 R8
中学校体育館等の開放校数	校	0	0	15	15	15

【事業の成果】

成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	R4	R5	R6	R7	中期目標 R8
中学校体育施設開放利用者数(延べ人数)	人	目標値 実績値	0 0	0 0	46,000 45,724	48,000	50,000
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							
成人の方を対象にスポーツ・レクリエーション活動のために開放(夜間)しており、利用者の数は増加傾向にある。		(目標達成度) 99.4% (得点) 35点					
成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	R4	R5	R6	R7	中期目標 R8
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							
		(目標達成度)					
		(得点)					

【コストの推移】

	単位	R 4( 決算 )	R 5( 決算 )	R 6( 決算 )	R 7( 予算 )
トータルコスト	[千円]	25,020	22,702	32,442	26,810
(事業費)	[千円]	17,536	15,175	24,722	19,090
(職員人件費)	[千円]	7,484	7,527	7,720	7,720

【事業内容と事業費内訳】

項目	事業内容	積算根拠等 ( 予算の増減理由 )	事業費		
			総額		
令和 6 年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管理謝金</li> <li>・開放施設電気料</li> <li>・屋外夜間照明等施設修繕工事費</li> <li>・その他</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 6 , 9 9 3 千円</li> <li>・ 4 , 9 9 7 千円</li> <li>・ 2 , 7 3 3 千円</li> <li>・ 9 , 9 9 9 千円</li> </ul>	総額	24,722	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	7,800
				他	4,153
一般財源	12,769				
令和 7 年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管理謝金</li> <li>・開放施設電気料</li> <li>・屋外夜間照明等施設修繕工事費</li> <li>・その他</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 7 , 3 0 0 千円</li> <li>・ 5 , 9 0 0 千円</li> <li>・ 5 , 0 0 0 千円</li> <li>・ 8 9 0 千円</li> </ul>	総額	19,090	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	4,606
一般財源	14,484				

【事業の評価】

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結びつくか。	3	一部結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	90 / 100 (90%)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C ( 0%~ 59%)					

【昨年度の実施状況と課題】 ( 評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入 )

市民が気軽に利用できる体力づくりや生涯スポーツの場を提供し、市民スポーツの振興に寄与した。前年度と比較して、利用者数は増加しており、継続して利用者数の拡大を目指す。

【今後の事業方針】 ( 評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入 )

学校体育施設開放事業の利便性を高めることで、施設利用者数の増加を図るとともに、受益者負担の観点からの検討を継続する。また、中学校部活動の地域移行に併せて運用方法の見直しを検討する。

令和 7年度（6年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	文化芸術・スポーツの振興		課(室)名	スポーツ振興課
	施策	スポーツの振興		電話番号	087-839-2626
	取組方針	スポーツを通じた地域の活性化		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	地域密着型トップスポーツチーム支援事業			

【事業全体概要】

事業概要	本市から全国への情報発信を始め、市民のふるさと意識の高揚や、スポーツ振興を通じた市民の健康増進等を図るため、地域密着型トップスポーツチーム（複数の都道府県にまたがって活動するリーグに所属し、地域に拠点を置くプロ若しくはこれに類したスポーツチーム）を支援する。		
年度概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・練習、教室の施設使用料の補助</li> <li>・児童生徒等観戦誘致委託</li> <li>・地域密着型スポーツ活用協議会負担金</li> <li>・高松市ホームタウンデー開催事業委託</li> <li>・その他（ユニフォームへの市ロゴマーク掲載料支援・優秀選手表彰負担金等）</li> </ul>		
重点取組事業	市長マニフェスト	7-	関連根拠法令

【事業の目的】

対象（何を）	地域密着型トップスポーツチーム （香川オリーブガイナース、カマタマーレ讃岐、香川ファイブアローズ、香川アイスフェローズ）
意図（どのような状態にしたいか）	地域密着型トップスポーツチームの認知度を高め、観客動員数の増加を図る。 地域におけるスポーツ教室の実施により、地域の活性化を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
施設優先利用回数	回	0	0	943	600	600

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
成果指標	地域密着型トップスポーツチームのホームゲーム観客数	人	目標値 実績値	0 0	0 0	83,300 90,459	97,000	110,700
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	香川ファイブアローズ及び香川オリーブガイナースの観戦者数が増加し、他のチームはおおむね横ばいであった。			（目標達成度） <b>108.6%</b>  （得点） <b>35点</b>				
成果指標	地域密着型トップスポーツチームの市内教室参加者数	人	目標値 実績値	0 0	0 0	1,900 2,145	2,000	2,100
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	各チームによる教室等が開催され、目標値を上回った。			（目標達成度） <b>112.9%</b>  （得点） <b>35点</b>				

【コストの推移】

	単位	R 4( 決算 )	R 5( 決算 )	R 6( 決算 )	R 7( 予算 )
トータルコスト	[千円]	23,333	22,891	22,377	22,863
(事業費)	[千円]	11,733	11,224	10,411	10,897
(職員人件費)	[千円]	11,600	11,667	11,966	11,966

【事業内容と事業費内訳】

項目	事業内容	積算根拠等 ( 予算の増減理由 )	事業費		
			総額		
令和 6 年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・練習、教室の施設使用料の補助</li> <li>・児童生徒等観戦誘致委託</li> <li>・地域密着型スポーツ活用協議会負担金</li> <li>・高松市ホームタウンデー開催事業委託</li> <li>・その他(ユニフォームへの市ロゴマーク掲載料支援・優秀選手表彰負担金等)</li> </ul>	2,000千円 1,134千円 5,940千円 1,313千円 1,024千円	総額	10,411	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	134
			一般財源	10,277	
令和 7 年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・練習、教室の施設使用料の補助</li> <li>・児童生徒等観戦誘致委託</li> <li>・地域密着型スポーツ活用協議会負担金</li> <li>・高松市ホームタウンデー開催事業委託</li> <li>・その他(ユニフォームへの市ロゴマーク掲載料支援・優秀選手表彰負担金等)</li> </ul>	1,900千円 700千円 5,940千円 1,200千円 1,157千円	総額	10,897	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	700
			一般財源	10,197	

【事業の評価】

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結びつくか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	5	現状が最適である
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	96 / 100 (96%)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C ( 0%~ 59%)					

【昨年度の実施状況と課題】( 評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入 )

より効率的かつ効果的な支援を行えるよう、香川県を中心に、県内他市町と連携を図りながら事業に取り組んでいる。試合の観客数、スポーツ教室の参加者数に関しては大幅に増加した。

【今後の事業方針】( 評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入 )

市民のスポーツ振興や地域の連帯感の醸成、全国への情報発信など、幅広い効果が期待できるとともに、本市のシンボリック的存在になる可能性がある団体を育成する事業であるため、効果的な支援を行う必要がある。